

位置図



事業概要

開始年度	平成20年度
事業延長	L=240m
事業内容	遊歩道 L= 60m
	階段護岸 2箇所
	飛び石 1箇所
	せせらぎ水路 60m
	ひょうたん池 1箇所

地域の声

私たちの村にまた一つ誇れるものができた。

事業経緯

平成15年度 事業着手、整備計画検討

平成16～19年度 左岸側の護岸・階段など施工

平成20年度 水辺再生100プラン事業となる

平成21年度 階段護岸、とび石、せせらぎ水路など施工

地域活動

- ・東秩父村が除草
- ・清掃や小規模な破損等の修繕を行う。

※「ふるさとふれあい河川整備事業」から「水辺再生100プラン」に移行(H20.4)

整備の状況



整備前

水辺へのアプローチがない(H21.10撮影)



整備後

親水護岸により親水性が向上(H22.8撮影)

- ポイント①: 階段を設けて川へのアプローチの確保
- ポイント②: 安全に対岸に渡れる飛び石の設置
- ポイント③: 小さなお子様でも安心して遊べるせせらぎ水路の創出

階段の設置



幅の広い階段(幅5m)を2箇所設置し、水面に近づきやすくしました。



遊歩道の設置



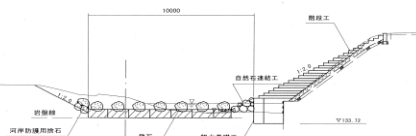
階段と階段の間の水辺に近い位置に遊歩道を設置し、水辺の散策ができるようにしました。
また、川筋には巨石を配置して魚の隠れ場となるようにしました。



埼玉県のマスコット コバトン



(見守り)



シンボルツリーの設置



当水辺再生施設のシンボルツリーとして「ヤマザクラ」を県道からの入口に植樹しました。

とび石の設置



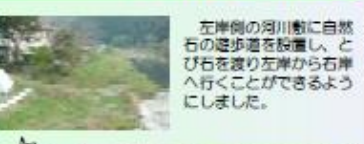
川の中に石を設置して、川を渡れるようにしました。

ワンドの整備



左岸側の河川敷に水の流れる緩やかな入り江をつくることで魚の生息域を確保し、豊かな水辺環境を確保しました。

自然石遊歩道の設置



左岸側の河川敷に自然石の遊歩道を設置し、とび石を渡り左岸から右岸へ行くことができました。

せせらぎ水路の整備



河川敷に浅い水路を設置し、子供たちが安全に水に親しむことができる空間を確保しました。
この水路は場所によって幅を変えたり、石やセキを設置していろいろな流れを創出し、川の流れを学べる場になりました。

ひょうたん池の設置



水路の上流には浅い池をつくり、池遊びのできる空間を確保しました。
また、池の中にはとび石を設置して、池の中を遊びながら移動できるようにしました。

